

編集：大崎市民病院感染管理室（2916）

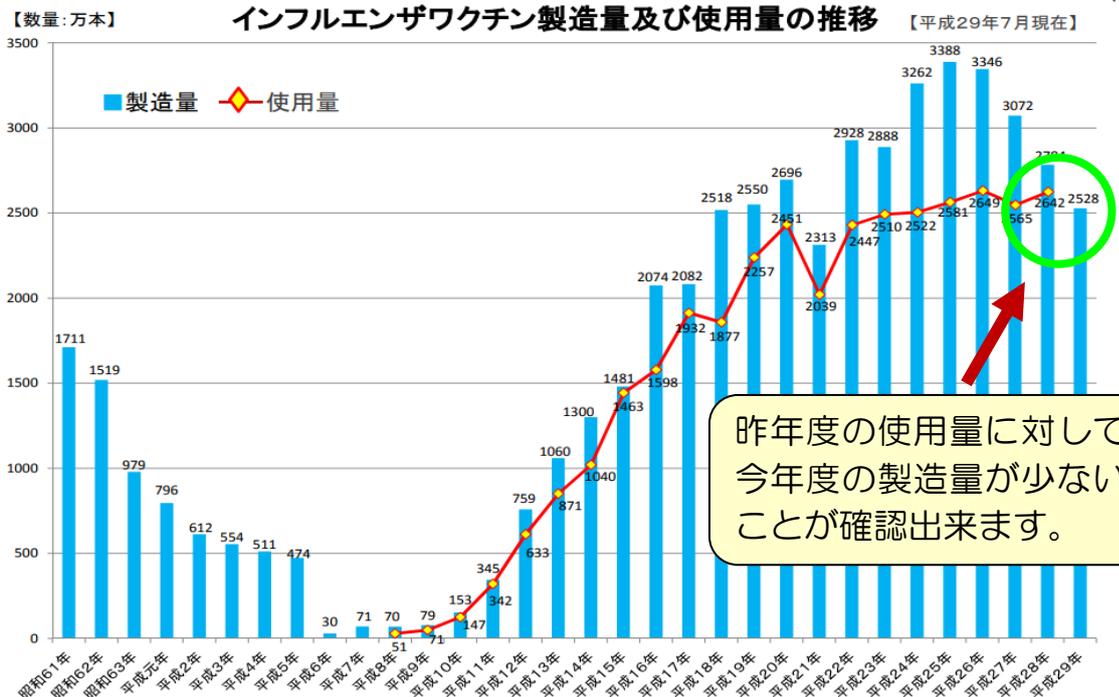
季節性インフルエンザワクチン供給について

この号の内容

- 1 季節性インフルエンザワクチン供給について
- 2 インフルエンザワクチン Q&A

平成 29 年 9 月 15 日に厚生労働省は各都道府県知事に対して、今冬用のインフルエンザワクチンは 2,527.5 万本製造予定である旨を通達しました。昨年度のインフルエンザワクチンの使用量は 2,642 万本であったことを考慮すると、今年度はインフルエンザワクチンの供給不足に陥る可能性が指摘されています。厚生労働省もその辺りを考慮してか、1 バイアルに複数分のワクチンが充填されて製品については最初の刺突後 24 時間以内であれば再利用が可能であるとの見解を出しています。仮に当院でバイアル中にワクチンが残存した場合は破棄せず、開封日を記載後に冷蔵庫で保管をお願いします。また再使用の際には、開封日が当日である事を確認してからの使用を徹底してください。（当院では院内ルールにより開封後は、当日中までの使用とさせていただきます。）

当院ではインフルエンザワクチンを適正に供給するように努めますが、希望の日時にワクチン接種ができない可能性もあります。一般の患者様で当院にてワクチン接種希望の場合には、事前に医師に相談をお願いします。



インフルエンザワクチン Q&A

Q1 インフルエンザワクチンを接種したのにインフルエンザにかかりました。ワクチンの効果はあったのですか？

A1 インフルエンザワクチンは接種すればインフルエンザに絶対にかからなくなると言うものではありません。しかしインフルエンザの発病予防や、インフルエンザの重症化を防ぐ効果が知られており、高齢者ではインフルエンザによる死亡を阻止すると考えられています。

Q2 インフルエンザワクチンの効果ってどのくらい持つの？

A2 ワクチン接種した 2 週間後から効果が発揮され、約 5 か月間持続すると考えられています。(通常 13 歳未満は 2 回ワクチン接種を行います、13 歳未満は 2 回目の接種の 2 週間後より効果が発揮されます)

Q3 インフルエンザワクチン接種はいつ頃受けるのが良いの？

A3 インフルエンザは例年 12 月～3 月にかけて流行します。ワクチン接種してから効果発現まで 2 週間必要ですから、12 月中旬までに接種を終えられた方が望ましいです。

Q4 インフルエンザワクチンの接種費用を教えてください

A4 インフルエンザワクチンの接種は、病気に対する治療でないため健康保険が適応されません。原則的にワクチン接種費用は全額自己負担ですが、自治体によっては一部公費負担するケースもあるため答えられません。参考までに公費負担金が無く当院で予防接種した場合は、大人：4743 円 小児：7229 円（2 回投与した場合）となっております。しかし上記はワクチン費やその他の費用であり、診察費等は含んでおりません。

参考元

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>